

令和4年1月19日

校長室だより

第9号

座間市立相武台東小学校

校長 浜田 佐織



令和4年がはじまりました 本年もよろしくお願いたします

令和4年とともに3学期が始まり、1週間がたちました。この間に全国的に新型コロナウイルス感染が急拡大し、おめでたい気分も吹き飛ばすような空気になりました。このような状況の中で始まった3学期ですが、子どもたちは新年のすがすがしさを感じさせるような姿を見せてくれています。

まず、始業式に子どもたちには「目標を立て、そのための行動を3つ考え実行しよう」と話しました。その後、それぞれの学級では自分の目標を発表したり、書いて掲示したりしていました。目標が絵にかいた餅にならぬように、そのために行動することを具体的に考え実行してほしいと願います。

また、先週に行われた書き初めは、どの学年も書きあがった作品とともに、集中して書く姿勢も素晴らしいものでした。1年生は入学の頃とは、比べものにならない程のしっかりした文字で、大きな成長が感じられます。小学校最後の書き初めになる6年生は「伝統を守る」の5文字に気持ちを込めて書きました。他の学年も力作ぞろいです。19日～21日の3日間、14:00～16:00に書き初め展をおこないます。感染対策をとったうえで、暖かい服装でお越しください。

最後に、保護者の方から「コロナや忙しさで学校に行くことが少ないけれど、学校の様子がわかるホームページを楽しみにしている。」「遠く離れた祖父母も見ている。」という嬉しい声をいただきました。今年もホームページを充実させ、子どもたちの生き生きとした学習や生活の様子や最新の情報を、タイムリーにお伝えしていきますので、ぜひご覧ください。

令和4年度 コミュニティ・スクールが始まります！

令和4年度4月から、座間市小中学校でコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)がスタートします。これは、地域住民や保護者、関係機関などの参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域づくりをめざすものです。相武台東小学校はこれまでも、南口商店街、農家、保育園・幼稚園、自治会の皆様などと連携しながら、地域に根ざした教育活動を進めてきました。来年度からは、10名程度の「地域学校協働活動推進員」を中心に、学校運営に参画していただくよう開始に向け準備を進めています。推進員として、南口商店街代表、自治会代表、民生委員・児童委員、幼稚園園長、おやじの会代表、おはなし会代表といった方々を候補としています。今後ますます地域とともにある学校をめざしていきますので、ご理解ご協力よろしくお願いたします。

人権について考える その2

(12月7日の朝会講話から)



前号で一人ひとりの人権を守るために「自分を大切にすること」について朝会講話をもとにお伝えしました。今回は「まわりの人を大切にすること」についてです。講話の中では次のように話しました。

「まわりの人を大切にする」、どんなことができそうですか。私はこんなふうに考えます。

①あいさつをする

これは本当に大切です。自分の仲良しだけでなく、家族、先生、仲間みんなにできると、された人は自分のことを見てくれたんだなと嬉しく思います。

「おはよう」「また明日ね」の一言で相手を大切にできるのです。

②困っていたら助ける

洗濯、料理、掃除、家の仕事でおうちの人困っていたら助ける、クラスで友達が困っていたら助ける、登校班で下級生が重い荷物で困っていたら助ける 毎日いろんなことで、相手を大切にできそうですね。

③乱暴なことばでなく、やさしい言い方をする。

日々生活していると、腹がたったり、喧嘩になって怒ったりすることもあります。

そんな時も乱暴な言葉でなく、どんな言い方だったら自分の気持ちが伝わるか考え言い方を工夫してください。それから「ありがとう」「だいじょうぶ」「いっしょにしよう」など、ふわふわ言葉でまわりの人を温かくしましょう。

④時にはそっとしておく

人間一人でいたいときもあります。そんな時はそっとしておくことが優しさであり、相手を大切にすることになります。友達でも、きょうだいでもそんな場面があるでしょう。

ほかにもいろいろあると思います。もし、今日の話を書いて自分だったらこんなことができるなという考えがあったらぜひ教えてください。

学校教育の基盤にあるのは、「自他を大切にする」人権尊重の精神です。学校は小さな社会で、自分とは考え方や好み、生活環境、得意不得意など違う個性をもった子どもたちが集まり、学び生活する場です。これから多様性の社会を生きていく子どもたちが、一人ひとりちがう人間だからこそ、相手の気持ちを想像したり、違いを認めたりすることが大切です。時にはぶつかったり、食い違ったりしながらも、諦めずに対話し互いを理解しあいながら、一緒に成長していつてほしいと願います。一人では学べないこと、出来ないことが皆と一緒にできる、そんな学校を子どもたち、そして教職員、さらには保護者や地域の皆様と共に創っていきたいと思います。

